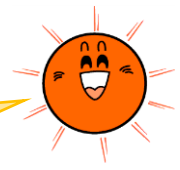


まとめ・振り返りの充実

南会津の課題

まとめ・振り返りの時間が十分にとれない…。
どのように振り返りをさせればよいのか分からない…。



まずは、時間の確保に努め、確実に実施しましょう！

1 子供の学びの質を高めるまとめ・振り返り

「まとめ・振り返り」を充実させることでこんな子供の姿が！

その
た
め
に
は

- ◎ 「見方・考え方」を伴った理解の深まりが期待できる！
- ◎ 自分の成長や変容、友達のよさや集団で学ぶよさに気付ける！
- ◎ 充実感、達成感、有能感などの学びの手応えを感じられる！
- ◎ 新たな課題の発見ができる！

今日は〇〇を学習して、
□□というきまりに
気付いた！

教師の『タイムマネジメント』が重要！



◎ まとめ・振り返りの時間を十分に確保します

- ➔ 1 単位時間の指導内容を精選しましょう。
- ➔ 導入は、短時間で、子供の課題解決意識や解決の必要性を高めましょう。
- ➔ 話し合いのポイントを明確にし、ねらいに迫るコーディネートをしましょう。
- ➔ 授業終了10分前にはまとめに入れるようにしましょう。

【まとめ・振り返りのポイント】

○ 「何を学習したか」をまとめます

まとめは本時の課題に対する答え・結論。つまり学習内容に気付かせるものです。

- ☆ 子供同士で学んだ中で一番大事なことや方法をアウトプットさせて
- ☆ 子供の言葉で
- ☆ 「キーワード」や「学習用語」を用いて（初期は「型」を使っても）
- ☆ 本時のねらいとまとめの整合性を図って

○ 「どのように学習してきたか」を振り返ります

振り返りは学習の方法や自己の変容・成長を自覚させるものです。

- ☆ 感想だけでなく「書く視点」を明確に
- ☆ 自己の変容や成長を実感させて
- ☆ 継続が大事



2 振り返りの工夫(例)

○ 板書を活用します。

→ 学習の流れが分かる構造的な板書により、授業全体を振り返ることができるようにしましょう。

○ 活用力育成シートを活用します。

→ 子供の実態に応じたコース別の問題を作成、活用し、習熟を図りましょう。

○ 「〇〇日記」を書かせます。

→ 「自分(変容)」「内容(分かったこと)」「方法(やり方)」など、発達の段階に合わせた内容を工夫しましょう。

○ ICTを活用します。

→ 繰り返し学習や技能の習熟を図ったり、より深い理解を促したりしましょう。

○ 家庭学習へつなげます。

→ 「家でも繰り返しやってみよう」「もっと調べたい」とその日の家庭学習を想定して取り組ませましょう。

○ 学び方のよさを価値付けます。

→ 教師からの価値付けだけでなく、子供自身に学び方のよい友だちを見つけさせていきましょう。

